



※学-Viva：「Viva」は、「生きる」という動詞から生まれた言葉です。三重の「学び場」が生き生きするイメージで名付けました。

### 「みえの学力向上県民運動」

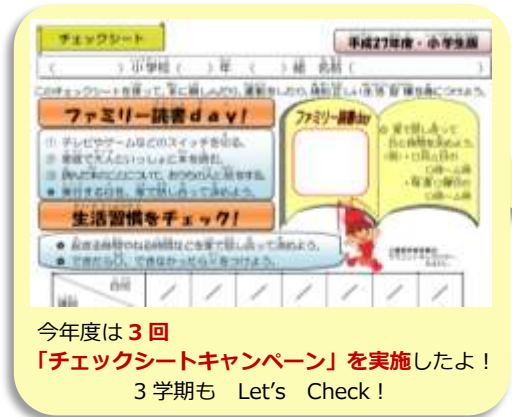
## 生活習慣・読書習慣チェックシートの活用を！

三重県教育委員会では、子どもたち一人ひとりが主体的に学習に取り組み、また「学校」・「家庭」・「地域」がそれぞれの役割を認識し、教育力を高めながら、一体となって子どもたちの学力を育んでいくための県民総参加による「みえの学力向上県民運動」に平成24年度から取り組んでいます。

「生活習慣・読書習慣チェックシート 小学生版・中学生版」(以下「チェックシート」)は、「みえの学力向上県民運動」のHPに掲載しています。

子どもたちの学力向上には、家庭での学習習慣や生活習慣、読書習慣の確立も大切です。

子どもたちが、規則正しい習慣を身につけられるよう、ぜひチェックシートを活用してください。



今年度は3回  
「チェックシートキャンペーン」を実施したよ！  
3学期も Let's Check!



### 伊賀市立上野南中学校



チェックシート、学校だより、学習計画帳をリンクさせて、学習習慣、生活習慣の定着を図っています。

チェックシートは担任が回収後、校長が最後に確認しています。集約結果は、校内研修会等で情報共有し、学校全体で生徒の生活の様子を把握しています。

また、チェックシートの「家の人からの一言」を「学校だより」に載せたり、保護者との面談のときにも話題にしたりして、家庭にも情報や課題を伝えています。

全ての学級で取り組んでいる「学習計画帳」には、「生活のプログラム」と「3行日記」が記入できるようになっています。生徒は毎日担任に「学習計画帳」を提出し、担任はコメントを入れて生徒に返却します。

学級通信や学年通信に「3行日記」を掲載し、生徒の学習の様子やつまづきを保護者とも共有し、**学校と家庭がともに生徒を育て**ています。

#### 家の人からの一言！

就寝時間が遅いのでよく疲れています。遅くても22:30には寝てほしいと思います。

#### 生活習慣

#### テレビ・スマホ・ゲーム

長い時間、携帯ゲーム機をしてしまうので、読書をする時間が持てませんでした。部活動は休まず参加し、帰ったら宿題をきっちりとしていました。

読書をもう少し頑張ったらよかったです。本人なりに意識していたところもあるので、もっと良くなるよう後押ししたいです。

#### 読書



## 木曾岬町立木曾岬小学校

チェックシートは、担任が回収後クラス全体の傾向（○が多い項目、×が多い項目）についてまとめています。その後、担当者が全てのチェックシートを集め、学校全体の傾向を分析するとともに、保護者のコメント欄に書かれている質問等については担任や管理職と相談しながら答えています。

また、**木曾岬小学校版チェックシート「きそリズム」**にも取り組んでいます。これは**家庭での学習習慣に特化**したチェックシートで、子ども自身がチェックする項目と保護者がチェックする項目、子どもと保護者が一緒にチェックする項目があります。



「きそリズム」には、子どもたちが少し頑張ったら○がつくという**手の届きそうな項目**を設定しています。「次は全部○にしたい。」という前向きな感想も見られました。

9月上旬に実施したところ、夏休み明けの生活のリズムを取り戻す一助にもなりました。



## 亀山市立井田川小学校

家庭学習の  
定着に向けて  
～家庭や地域と  
連携しながら～

年度初めに保護者へ「家庭学習の充実のために」（家庭学習の手引き）を配付するとともに、懇談会で家庭学習の定着にむけて協力を依頼しました。「家庭学習の時間は『各学年×10分+10分』と数値目標を明記し、その時間は机に向かって宿題や自主学習、読書等に取り組むよう子どもたちに指導しています。

また、今年度から3カ所の**学童保育所の担当者にも手引きを配付**して、協力を求めました。家庭の役割を一部担っている学童保育所にも、**学校や家庭と同じ姿勢で**子どもたちに学習習慣を身につけさせてもらうよう指導をお願いしています。担当者からは「子どもたちが『1年生だから20分は勉強しないといけない！』と勉強時間を意識するようになりました」という声や、「学校から学童保育所に来たら、すぐに勉強する子が増えました」という声が届いています。



## 津市立神戸小学校

長時間のテレビやゲームが子どもたちの脳に与える悪影響を予防し、時間を有効活用する生活を目指すため、奇数月の毎週水曜日に「NOゲーム・NOテレビチャレンジ」を実施しています。

子どもたちは「NOテレビ」「NOゲーム」「家庭学習」から1コースずつ選びます。担任が火曜日にシートを配付し、子どもたちは水曜日に取り組み、結果を記入して木曜日に担任に提出します。担任は月末に養護教諭に提出し、**養護教諭が各学級の**

「NOテレビ」  
「NOゲーム」  
「家庭学習」に  
チャレンジ！

**チャレンジ達成状況等を集約**のうえ、前回との比較や子どもたちと保護者の感想を踏まえ**分析**を行っています。

職員会議で分析結果についての情報共有と協議を行い、保護者には「ほけんだより」や「学校だより」、HP等で伝えています。

子どもたちは**自分でコースを選び、取組の目標を設定**することができ、テレビやゲームをしない時間を、読書や学習に生かそうとする意欲にもつながってきました。また、家族ぐるみで取り組むことで、家庭でも子どもとともに時間の使い方を見直す機会にもなっています。

NOテレビ	
コース	内容
1	一日テレビをしない
2	テレビは30分までにする
3	テレビは1時間までにする
4	テレビは2時間までにする

NOゲーム	
コース	内容
1	一日ゲームをしない
2	ゲームは15分までにする
3	ゲームは30分までにする
4	ゲームは1時間までにする

家庭学習	
コース	内容
高学年	60～90分(5・6年生の目標)
中学年	40～60分(3・4年生の目標)
低学年	30～40分(1・2年生の目標)

## 「みえの学力向上県民運動 成果発表県民大会」を開催します

- 日時 平成28年1月7日(木) 13:30～16:30
- 場所 三重県総合文化センター 中ホール
- 内容 実践報告(県内小・中学校) パネルディスカッション 等

詳しくは「みえの学力向上県民運動」のHP (<http://www.mie-c.ed.jp/kenminundou/>) をご覧ください。



# 学力向上 に向けた

## 具体的な実践事例

### 【事例 11】紀北町立船津小学校

#### 学ぶ意欲をもち、習得した基礎・基本の力を活用できる子どもの育成 ～算数科の授業を通して～

「授業づくり」と「学びの習慣づくり」の視点から学力向上に取り組んでいます。全国学力・学習状況調査結果の分析等から実態を把握した上で、授業中心の校内研修を充実させ、子どもの変容を捉えながら研究を進めています。

#### 授業改善に向けて

##### ■ めざす授業の共通理解

課題に対して自分の考えを  
まとめ、発表する姿

友だちと意見交換し、  
理解を深める場面

少人数の特性を  
活かした工夫

##### ■ 研究授業の活性化

- 各学級年間3回以上研究授業を実施（全員で参観）
- 参観の視点は「**子どもの変容**」と「**教師の支援**」
- 授業記録をまとめ、次の授業に活用
- 事前検討・**模擬授業形式** ● 事後検討・**KJ法による全員参加型研修**
- 県教育委員会指導主事による事前検討、研究授業、事後検討での指導

視点を共有し、  
改善点を  
明らかに

短時間で  
効果的な検証

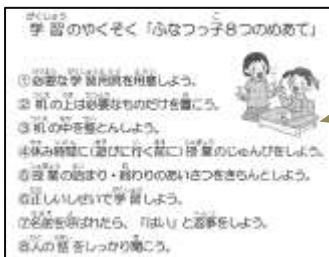
全員が意見を  
言いやすい



#### 学校全体での取組

##### ■ 学習規律

- 「ふなつつ子8つのめあて」

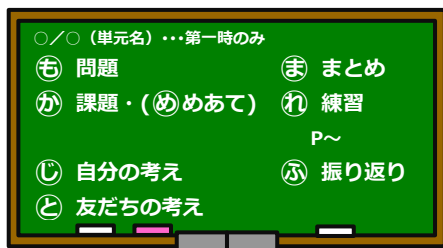


学習に対する  
集中力  
UPI!

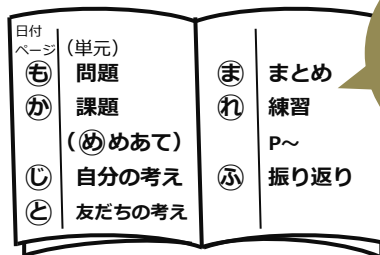
##### ■ 授業スタイルの統一「船津小モデル」

- 「既習事項の確認→課題提示→見通し→自力解決→学び合い→まとめ→定着問題→ふりかえり」
- 毎時間の「ねらい」と「ふりかえり」を吟味
- 活用力を高めるために「活用させたい既習の知識や見方・考え方」「育てたい見方・考え方」を明確化
- ➡ 見通しをもつことで、子どもたちは学び方を身につけ、学んだことを確認しながら意欲的に学習

##### ■ 板書と連動したノート指導



**連動**  
思考の流れが  
分かる!



書き方を  
パターン化  
↓  
書くことへの  
抵抗が減少

考えを整理  
↓  
自分の考えが  
はっきりする

#### 学校・家庭・地域との連携

##### ■ 学校だより「ふなつつ子」を毎日発行

- 学校の様子や校長の考え、校内研修・研究授業の様子、家庭学習の大切さなど学力向上に関する記事も掲載

##### ■ 地域ボランティアの活用

- 読み聞かせや、染め物体験、米作り、野菜作り、水質調査等

#### ●●●● 紀北町立船津小学校長からのコメント ●●●●

「授業改善なくして、学校改善なし」。本校では、この原点に立ち返り「日常の授業実践を大事にしていこう！」を合い言葉に学校改善に取り組んでいます。基本的な学習過程やノート指導などを統一し、「当たり前のことが習慣になるまでチームで徹底する」ことを大切に、小規模校の特性を活かした船津小ならではの実践を行っています。めざす子ども像「かがやくふなつつ子」のごとく、毎日子どもも先生もかがやいています。



# ◆連載◆ 全国学力・学習状況調査の結果から見てきたもの 「平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果 分析報告書」より

三重県教育委員会は、民間企業の分析協力も得て、「平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果分析報告書」（以下「分析報告書」）を公表しました。

この分析報告書には、「各教科に関する調査結果の分析」をはじめ、「児童（生徒）質問紙と教科に関する調査との関連」や「学校質問紙から見てきた『学力向上のための優先課題』」、「県内外の取組事例」、「県教育委員会による今後の取組」等についても記述しています。あわせて出された「平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果分析報告書（ガイドブック）」では、分析報告書の各章の中でも特に注目していただきたい項目について記述していますので、活用してください。

## 【第 4 章 小学校詳細分析～児童質問紙～】より（P45 から抜粋）

◆◆ 規範意識 ◆◆ 規範意識は「国語 B」との関連が見られます。

### 【関連項目】

番号	質問
(33)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか
(35)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
(34)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

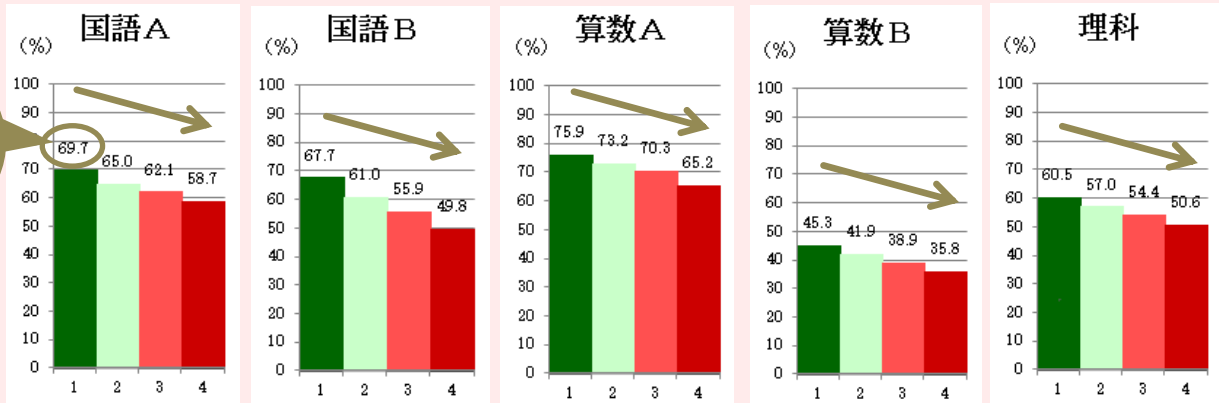
質問番号（33）、（35）、（34）いずれも「国語 B」との関連が最も顕著です。

論理的に考え、相手の言葉を受け止め、伝え合う言葉をもつことが規範意識にも影響しています。

### 【教科に関する調査の平均正答率と関連が見られる項目】

（33）人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか

（1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない）



「1 当てはまる」と回答した児童の平均正答率

●●●●分析報告書は県教育委員会の HP からダウンロードできます●●●●

<http://www.mie-c.ed.jp/shochu/27zennkokugakuryokutyousa/27gakutyoubunsekishousai.html>

また、分析報告書とともに別冊資料として「設問別に見る つまずきと指導のポイント〈小学校版・中学校版〉」「三重の学-Viva!! (まなびば) セット 第3弾 ワークシート集 (全国学調課題対応)」も各学校に配付しました。ぜひ、明日からの学習指導や授業改善に活用してください。

～全ては「子どもたちの笑顔」のために～

★★★ 分析協力：株式会社ベネッセコーポレーションからのメッセージ ★★★

三重県様のデータを拝見して最も印象深かったのは、学校質問紙の多くの項目で肯定率が毎年高くなっていたことでした。先生方が、調査結果を受け止めて課題を解決しようと努めていらっしゃるがよくわかります。今回、生き生きと新たなことにチャレンジし、取り組まれている市町等教育委員会様、小・中学校様にもインタビューをさせていただき、大きな刺激をいただきました。今後も、先生方も含め県民の皆様が一体となって、子どもたちが将来社会で発揮できる力を付けていく教育を進めていかれることを願っております。